



平成22年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年8月11日

上場会社名 株式会社C&Gシステムズ 上場取引所 JQ
 コード番号 6633 URL <http://www.cgsys.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山口 修司
 問合せ先責任者(役職名) 執行役員 管理統括部 部長 (氏名) 大野 聡太郎 TEL (03)5793-8800
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年12月期第2四半期の連結業績(平成22年1月1日～平成22年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年12月期第2四半期	1,452	7.6	△23	—	△4	—	6	—
21年12月期第2四半期	1,349	—	△302	—	△289	—	△263	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年12月期第2四半期	0 54	—
21年12月期第2四半期	△22 86	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年12月期第2四半期	4,149	2,085	49.6	186 20
21年12月期	5,457	3,161	57.2	270 16

(参考) 自己資本 22年12月期第2四半期 2,056百万円 21年12月期 2,132百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年12月期	—	0 00	—	0 00	0 00
22年12月期	—	0 00	—	—	—
22年12月期(予想)	—	—	—	0 00	0 00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成22年12月期の連結業績予想(平成22年1月1日～平成22年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
通期	3,171	27.4	24	—	38	—	26	—	2 40	—

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は【添付資料】P. 4「その他の情報」をご覧ください。）

- (1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無
新規 一社 ()、除外 一社 ()

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 無

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

- (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 : 無

- ② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

- (4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

22年12月期2Q	11,982,579株	21年12月期	11,982,579株
22年12月期2Q	937,062株	21年12月期	432,462株
22年12月期2Q	11,218,363株	21年12月期2Q	11,550,117株

- ② 期末自己株式数

- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、内需・外需の回復を背景に、国内の生産活動が増加し、経済は緩やかながらも回復傾向にありました。また企業収益の回復や、子供手当等政府の施策による所得の下支えにより、個人消費マインドも持ち直しを見せました。世界経済につきましては、中国の拡大テンポが鈍化傾向にあるものの、引き続き高水準で成長いたしました。一方欧米では、欧州の財政危機や金融システム不安、各国の財政緊縮策加速による懸念が広がりました。また米国では、雇用情勢や個人消費の鈍化、政府による住宅購入支援策の終了等により、景気回復の減速感が強まりました。

国内外の景気の緩やかな回復を背景に、自動車関連や家電、精密機器等の最終製品メーカーの生産が伸びる中、当社グループの主要顧客である金型関連業におきましても、金型向け工作機械受注の2010年1～6月累計額が前年同期比で約50%増となる(日本工作機械工業会「工作機械受注統計」)など、設備投資については堅調に推移いたしました。しかしながら実際の国内金型生産額は、2010年1～5月累計で前年同期よりもさらにマイナス10%程度で推移しており(経済産業省「機械統計」)、依然として厳しい状況が続きました。

このような状況下、当社では新たに定めた中期経営計画の方針に基づき、取り組みを進めてまいりました。当第2四半期におきましては、当社および当社製品ブランド認知に向けた活動の強化を進めてまいりました。また、現有CAD/CAMパッケージ製品のバージョンアップを行い、金型設計・製造における効率性、利便性をさらに高めました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は14億52百万円(前年同期比7.6%増)、営業損失23百万円(前年同期は3億2百万円の損失)、経常損失4百万円(前年同期は2億89百万円の損失)、四半期純利益は6百万円(前年同期は2億63百万円の損失)となりました。

事業セグメント別の業績は以下のとおりです。

(CAD/CAMシステム事業)

CAD/CAMシステム事業においては、2010年4月に「インターモールド2010(大阪)」、6月に「設計・製造ソリューション展(東京)」にそれぞれ出展し、既存ユーザおよび潜在顧客に対して、当社製品の優位性やCAD/CAM技術支援体制等を紹介いたしました。また研究開発分野においては、金型用3次元CADシステム「CAM-TOOL」をバージョンアップ、主要工具メーカーの工具に対する参考切削条件を新たに搭載し、加工工程の設定作業を容易にするとともに、より正確な干渉チェックを可能といたしました。また金型用3次元CAD/CAM「Neosolid」の樹脂流動解析オプションを開発、設計者にも使いやすい「CAD組み込み型CAEオプション」として提供いたしました。

これらの結果、CAD/CAMシステム事業の売上高は12億99百万円、営業利益は1億77百万円となりました。

(金型製造事業)

北米で展開している金型製造事業においては、北米での自動車生産台数が回復基調にある一方で、景気回復の減速感が広まっていることから、主要顧客である自動車関連製品メーカーにおける生産への投資は非常に慎重なものとなりました。また第2四半期に予定していた売上がずれ込んだことも、収益に影響を及ぼしました。

これらの結果、金型製造事業の売上高は1億53百万円、営業利益は5百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して3億1百万円減少し、41億49百万円となりました。主な増加要因は受取手形及び売掛金2億32百万円、主な減少要因は現金及び預金5億19百万円であります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比較して2億26百万円減少し、20億64百万円となりました。主な増加要因は買掛金36百万円、主な減少要因は未払金1億98百万円、短期借入金49百万円、長期借入金55百万円であります。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて75百万円減少し、20億85百万円となりました。これは、自己株式79百万円取得したことなどによります。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」)は、前連結会計年度末と比較して5億19百万円減少し、20億47百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結会計期間末における営業活動による資金は2億74百万円の減少(前年同期は48百万円の減少)となりました。主な増加要因は、減価償却費31百万円、退職給付引当金の増加27百万円、主な減少要因は、未払金の減少1億99百万円、売上債権の増加2億33百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結会計期間末における投資活動による資金は52百万円の減少(前年同期は41百万円の減少)となりました。主な減少要因は、敷金及び保証金の差入による支出17百万円、保険積立金の積立による支出34百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結会計期間末における財務活動による資金は1億89百万円の減少(前年同期は1億62百万円の増加)となりました。主な減少要因は、短期借入金の純減額20百万円、長期借入金の返済による支出84百万円、自己株式の取得による支出79百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

現時点において、平成22年2月19日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

当第1四半期連結会計期間において、当社連結子会社であったコンピュータエンジニアリング㈱及び㈱グラフィックプロダクツを吸収合併しております。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,263,152	1,782,748
受取手形及び売掛金	577,491	345,196
有価証券	823,906	823,596
たな卸資産	41,863	47,110
その他	141,237	217,327
貸倒引当金	△17,530	△35,289
流動資産合計	2,830,121	3,180,689
固定資産		
有形固定資産	291,767	274,303
無形固定資産	21,081	25,305
投資その他の資産		
投資不動産(純額)	492,100	500,057
その他	515,190	470,936
貸倒引当金	△464	△477
投資その他の資産合計	1,006,827	970,517
固定資産合計	1,319,675	1,270,126
資産合計	4,149,796	4,450,815
負債の部		
流動負債		
買掛金	86,172	49,784
短期借入金	460,040	509,690
未払法人税等	7,582	14,412
前受金	574,762	567,284
その他	122,559	328,718
流動負債合計	1,251,115	1,469,889
固定負債		
長期借入金	286,580	341,600
退職給付引当金	352,142	325,125
役員退職慰労引当金	73,408	70,358
債務保証損失引当金	18,517	21,295
その他	82,585	62,088
固定負債合計	813,234	820,467
負債合計	2,064,350	2,290,357

(単位:千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,000	500,000
資本剰余金	2,166,441	2,166,441
利益剰余金	△383,300	△389,383
自己株式	△208,954	△129,227
株主資本合計	2,074,186	2,147,830
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△2,036	△2,223
為替換算調整勘定	△15,419	△12,998
評価・換算差額等合計	△17,455	△15,222
少数株主持分	28,715	27,850
純資産合計	2,085,446	2,160,458
負債純資産合計	4,149,796	4,450,815

(2) 四半期連結損益計算書

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年6月30日)
売上高	1,349,056	1,452,108
売上原価	403,512	482,493
売上総利益	945,543	969,615
販売費及び一般管理費	1,247,672	992,752
営業損失(△)	△302,128	△23,137
営業外収益		
受取利息	2,874	2,511
受取配当金	934	922
不動産賃貸料	47,353	46,797
その他	7,629	13,884
営業外収益合計	58,791	64,116
営業外費用		
支払利息	7,226	5,866
不動産賃貸費用	38,009	37,591
その他	870	1,765
営業外費用合計	46,106	45,223
経常損失(△)	△289,444	△4,244
特別利益		
固定資産売却益	—	1,271
貸倒引当金戻入額	4,918	17,772
賞与引当金戻入額	23,720	—
債務保証損失引当金戻入額	2,777	2,777
その他	2,670	—
特別利益合計	34,087	21,821
特別損失		
固定資産売却損	1,701	—
固定資産除却損	234	33
特別損失合計	1,935	33
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△257,293	17,542
法人税、住民税及び事業税	10,487	7,829
法人税等調整額	△14,141	1,162
法人税等合計	△3,653	8,991
少数株主利益	10,347	2,468
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△263,986	6,082

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△257,293	17,542
減価償却費	36,805	31,319
のれん償却額	5,625	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	7,881	△17,772
賞与引当金の増減額(△は減少)	347	—
退職給付引当金の増減額(△は減少)	23,011	27,023
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	1,503	3,050
債務保証損失引当金の増減額(△は減少)	△2,777	△2,777
受取利息及び受取配当金	△3,808	△3,434
支払利息	7,226	5,866
受取賃貸料	—	△46,797
その他の営業外損益(△は益)	—	30,299
固定資産除売却損益(△は益)	1,935	△1,237
売上債権の増減額(△は増加)	270,816	△233,620
たな卸資産の増減額(△は増加)	18,199	3,775
仕入債務の増減額(△は減少)	△15,520	37,537
前受金の増減額(△は減少)	△51,971	9,367
未払金の増減額(△は減少)	—	△199,674
その他	△108,230	66,287
小計	△66,249	△273,244
利息及び配当金の受取額	3,812	4,045
利息の支払額	△7,418	△6,832
賃貸料の受取額	—	46,797
法人税等の支払額	△16,286	△11,730
法人税等の還付額	37,584	—
その他	—	△33,240
営業活動によるキャッシュ・フロー	△48,556	△274,204
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△163,004	—
定期預金の払戻による収入	158,000	—
有形固定資産の取得による支出	△2,565	△5,931
有形固定資産の売却による収入	714	1,271
無形固定資産の取得による支出	△10,333	△849
投資有価証券の売却による収入	1,512	1,477
短期貸付けによる支出	△950	—
長期貸付けによる支出	△1,000	—
長期貸付金の回収による収入	2,066	1,503
敷金及び保証金の差入による支出	△1,958	△17,091
敷金及び保証金の回収による収入	12,615	2,431

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年6月30日)
保険積立金の積立による支出	△36,380	△34,844
投資活動によるキャッシュ・フロー	△41,284	△52,033
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	△50,000	△20,000
長期借入れによる収入	400,000	—
長期借入金の返済による支出	△119,679	△84,670
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△3,948	△4,639
自己株式の取得による支出	—	△79,726
配当金の支払額	△57,811	△344
少数株主への配当金の支払額	△5,768	△199
財務活動によるキャッシュ・フロー	162,792	△189,580
現金及び現金同等物に係る換算差額	8,969	△3,466
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	81,920	△519,285
現金及び現金同等物の期首残高	2,929,257	2,566,344
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,011,178	2,047,059

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成21年1月1日 至 平成21年6月30日)

	CAD/CAM システム等 (千円)	金型製造 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	1,169,070	179,986	1,349,056	—	1,349,056
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,169,070	179,986	1,349,056	—	1,349,056
営業利益又は 営業損失(△)	△274,366	25,450	△248,916	(53,212)	△302,128

(注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各区分に属する主な製品

(1) CAD/CAMシステム等……………CAD/CAM製品、保守契約サービス、開発サービス

(2) 金型製造……………金型製造請負事業

当第2四半期連結累計期間(自 平成22年1月1日 至 平成22年6月30日)

	CAD/CAM システム等 (千円)	金型製造 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	1,299,093	153,015	1,452,108	—	1,452,108
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,299,093	153,015	1,452,108	—	1,452,108
営業利益又は 営業損失(△)	177,936	5,045	182,981	(206,118)	△23,137

(注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各区分に属する主な製品

(1) CAD/CAMシステム等……………CAD/CAM製品、保守契約サービス、開発サービス

(2) 金型製造……………金型製造請負事業

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成21年1月1日至平成21年6月30日)

	日本 (千円)	北米 (千円)	アジア (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	1,094,381	212,935	41,739	1,349,056	—	1,349,056
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	35,756	—	742	36,499	(36,499)	—
計	1,130,138	212,935	42,482	1,385,556	(36,499)	1,349,056
営業利益又は 営業損失(△)	△272,298	24,763	△1,381	△248,916	(53,212)	△302,128

- (注) 1 地域は地理的近接度によっております。
 2 各区分に属する地域の内訳は次のとおりであります。
 北米……米国、カナダ
 アジア……タイ

当第2四半期連結累計期間(自平成22年1月1日至平成22年6月30日)

	日本 (千円)	北米 (千円)	アジア (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	1,237,556	182,481	32,070	1,452,108	—	1,452,108
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	30,330	—	101	30,432	(30,432)	—
計	1,267,887	182,481	32,172	1,482,541	(30,432)	1,452,108
営業利益又は 営業損失(△)	182,414	1,714	△1,146	182,981	(206,118)	△23,137

- (注) 1 地域は地理的近接度によっております。
 2 各区分に属する地域の内訳は次のとおりであります。
 北米……米国、カナダ
 アジア……タイ

【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間(自 平成21年1月1日 至 平成21年6月30日)

	北米	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	213,735	98,899	950	313,584
II 連結売上高(千円)	—	—	—	1,349,056
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	15.8	7.3	0.1	23.2

- (注) 1 国又は地域の区分は、所在地別セグメント情報(注)1に同じであります。
- 2 各区分に属する地域の主な内訳は次のとおりであります。
- 北米……米国、カナダ
アジア……タイ、中国、韓国
その他……チェコ、メキシコ
- 3 海外売上高は、連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高の合計額(但し連結会社間の内部売上高は除く)であります。

当第2四半期連結累計期間(自 平成22年1月1日 至 平成22年6月30日)

	北米	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	183,043	130,288	468	313,800
II 連結売上高(千円)	—	—	—	1,452,108
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	12.6	9.0	0.0	21.6

- (注) 1 国又は地域の区分は、所在地別セグメント情報(注)1に同じであります。
- 2 各区分に属する地域の主な内訳は次のとおりであります。
- 北米……米国、カナダ
アジア……タイ、中国、韓国
その他……チェコ、ポーランド
- 3 海外売上高は、連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高の合計額(但し連結会社間の内部売上高は除く)であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。